かなのくわいの書類

洋学文庫
文庫8
A 317

昭和十乙亥年六月拾六日調

かなのくわいの書類

東京市荒川區日暮里町
二丁目二十六番地
大槻茂雄記

大槻文庫

かなのくわいの書類　昭和十年六月調

かなのくわい（月の部）　西面、

かなのくわい（月の部）

かなのくわい一つきのぶのやくそく　十六年七月

（月の部は舊かなのとも）

かなのみちびきまきの十三のふろく　十六年六月二十五日許　西面

かなのくわい（雪の部）規則抜書　十六年十月二日許

（雪の部は舊いろは會いろは文會等）

きんせんいりいでう（かなのみちびきまきの十一のふろく）　十六年十一月

めいぢ二十ねんいりいでう　草稿

大槻茂雄藏

10 20 上根岸 特田特製

43-7212

十八ねむつきなみくわいうたのけむだい

ふくくわいちやうなべしまどののおんことば

がきのうつし（鍋島直大）　十六年一月一日

おどけいろはうた、、、うるをゆるさむ

かなのみちびきまきの十三のふろく　十七年六月五日　両面

かなのとものしゆい　両面

かなのくわいしゆいがき

兵庫湊川神社五る五十年祭

しいせいかそへうた

かなのえぜつききくしるしのふだ　十六年七月

しらせかなしんぶん第十號ふろく　十八年十一月五日

かなのくわいきそく　一冊

てふらひのさうし　一號—いがう—　十九年五月　一冊

かふのしるべ　巻一　十七年十月三十日

かなのとものしゆい（月の部）　十六年十月

てまねいろは

かなのくわい（もとのとも）のきそく　二十二年三月一日　両

京都滋賀新報第九七九号　十七年九月十二日　両

あたみのつと（熱海の道中記）　一冊

明治十七年五月中旬　物集高見の序

かふのざつ志　一冊

明治六年七月二十五日　一号

かふのまなび　一号―十号　十冊

明治十六年八月二十日・―十七年六月二十日　合冊

事務所東京京橋区西紺屋町十九　かなのくわい雪之部

かなのてかゞみ　一―二十一号　二十二号―四十二号　合冊二冊

明治十九年七月―二十二年十二月十五日

東京市麹町区飯田町五丁目八　かなのくわい

かなかき 海上衝突豫防規則 一冊

明治十九年五月 攻玉社 平田東雄訳

ひさもとのき一へ 近藤真琴 一冊

明治九年五月二十六日

ちようへいれいはやがてん 一冊

明治十六年十二月二十六日 十七年一月十六日 宮崎蘇菴訳

ぶんのかきかた（文の書方） 一冊

明治十六年六月二十一日 辻敬之

かなぶんのかきかた 一冊

明治十七年六月二十一日 辻敬之

10 20 上根岸 持田特製

きろくのぬきがき 第一号 一冊

明治十八年三月二十五日

かなのてがみ 第五四号 一冊

明治二十三年十二月十五日

うひまなびのてほん（初學習字帖）六冊ノ内 一冊

（中村梧竹先生）

かなのくわいきそくがき

明治十七年六月二十五日（假定）

飯田町一丁目七番地 かなのくわい

かなのくわいつなみぶふ（假名の會月報） 二冊

（初編 二編

いそのもくづ（磯の藻屑）巻一—八 郵 七冊

明治十七年十二月　但 三号欠

小田原萬年町四丁目かなゝ余小田原組

かなのみちびき　一—一三、

明治十六年五月二十七日

明治十七年六月二十五ヶ

かなのくわい　月之部

米国より八書翰　安　山内萬寿治

五月二十三ヶ

あまがさひかり　一—

明治二十一年六月かなのくわい　三浦組

かなのみなと　三号八号十二号　三冊

第　横濱組

いつらのこゑのかなかへ

明治十九年六月九日　石河光煕（イシコ ミツテル）

てならひざうし　巻一

明治十九年五月二十五ヶ　宮崎蘇庵

語学社記事（ことはのもと）　附會計

明治十七年二月　安

てがみのかきかた（一―六）　一級　二級
明治二十一年四月
つゆの志たくさ　神編
宇都宮　中の集　ニリヤマ中村貞金
はやがくもんかなのしんぶん　第一號
明治二十年八月七日イロハ組発行
むつのはな　二。三。九。十。十一。十二。十三。十四。十五。十六。十九。二一。二三。二四。
二五。二六。二七。二八。二九。三〇。三一。三二。三三。三四。三五。三六。四〇。四一。
冬号　一。四。五。六。七。八。十六。十七。二〇。二二。三七。三八。三九。
はつくさ（神草）

明治十九年三月　岐阜組假名の雜誌
はぎの志をり　七。八。十一。十二。
明治二二年一月十五日 二二年六月十九日　假名會　濃尾組
かながきちそでうれい　地租條例
かなのみちびき　第一の附録

一、くわいおんなまへかきこみちやう　巻一

明治十六年三月ヨリ十二月マデ

かなのくわい　月之部

○東京、神田、佐柄木町二十一番　月之部事務所

二、くわいおんなまへかきこみちやう　巻二

明治十七年一月ヨリ六月マデ

○東京神田佐柄木町二十一番

三、ふまへちやう

明治十六年十二月

かなのくわい　月之部

10 20 上根岸 梧田特製

四 ふまへちやう

〇東京麹町区飯田町一丁目七番地　かなのくわいのもとのとも

かなのくこい

かなのくこいもとのとも

〇東京麹町区有楽町三丁目一、

〇東京京橋区山下町十三番地

五 くおこんいつけこみちやう

明治十八年一月ヨリ六月マデ

とうきやう　かなのくこい

月之部

10 20 上根岸 持田特製

六 くねこんいつけこみちやう

明治十八年七月ヨリ十九年十二月マデ

かなのくこい月之部

七 くおこんいつけこみちやう

明治二十年一月ヨリ

かなのくこいもとのとも

月之部

八 ただいい一ニるねわけちやう

明治二十二年一月ヨリ

（十六参照）

（十六）

九 だい三るねわけちやう　一號

明治十七年七月ヨリもとのとも

十
だい三るゐわけちやう　二節
明治十七年七月ヨリもとのとも

十一
たい三るゐわけちやう　一節
明治二十二年一月ヨリ

十二
だい三るゐわけちやう　二節
明治二十二年一月ヨリ

十三
だい四るゐ、むくこいひなまへちやう
かなのくこつもとのとも

十四
ぶんこ なまへちやう　一節（るゐわけ）
かなのくこいもとかとも

十五
ぶんこいんるゐわけちやう　二節（なまへ）
かなのくこり

十六
だい二るゐわけちやう
明治十七年七月ヨリ

（六）
かなのかくこいもとのとも（八参照）

十七
はいたつちやう　とうきやう
かなのんこいもとのとも

十八
はいたつちやう　ちはうの一
かなのくこいもとのとも

十九
はいたつちやう　ぶんくこい

10/20 上根岸 特田特製

二十

かふかくこい　もとかとも

二十一

くこいひかりうけとりちやう　二番

明治十七年十一月ヨリ十八年四月マデ

かふかくこい

二十二

くこいひかりうけとりちやう　三番

明治十八年四月ヨリ六月マデ

かふかくこい

10
20
上根岸　特田特製

二十三

くこいひかりうけとりちやう　四番

明治十八年七月ヨリ

かふのくこい　もとのとも

二十四

くこいひうけとりちやう　五番

明治十九年一月ヨリ

かふのくこい　もとのとも

二十五

くこいひうけとりちせう　六番

明治十九年六月ヨリ

かふかくこい

二十六

くこいひうけとりちやう　七番

明治二十年一月ヨリ
かふのくこい　八番

二十七
くこいひうけとりちやう
明治二十年九月ヨリ
かふのくこい

二十八
くこいひうけとりちやう
明治二十一年三月
かふのくこい　一號（三十八参照）

二十九
くこいひとりあつめちらべちやう（とつ印）
明治十九年六月マデノ
かふのくこい

三十
くこいひとりあつめちらべちやう（上印）
明治十九年下半年
かふのくこい

三十一
きふきんうけとりちやう
明治十八年七月一日ヨリ
かふのくこい　もとかとも

三十二
きふきん人だいちやう
明治二十二年十月
かふおくかう（假名学校）

10 20 上根岸 特田特製

三十三
きふきんうけとりちやう
明治二十二年十月
かああんかう
（餘名學校）

三十四
かあがくあうきふにんのなまへ

三十五
ひびのふで
明治十六年十月ヨリ
巻一
かあのくこいつきのぶ

三十六
ひび[illegible]かきとめ
・明治十七年七月

三十七
ひびのかきとめ
明治十八年一月ヨリ
かあのくこい
かあのくこい

三十八
ふなくこいひとりあつめちやう
明治二十一年四月
二冊
（二十八参照）

三十九
ちはうぶんくこいよりの
くこいひおくりだせうちやう
明治十八年一月ヨリ六月マデ
かあのく五い もとのとも

四十 くみぐミよりくこいひ
たくりぶやうちやう
明治か二十年一月ヨリ十二月マテ

四十一 かふぶくかうろけをらひかんちやう
かふかくこい
明治二十四年六月
かふのくこい　ふむしよ

四十二 きんたぐみまふくこいきんひかへ
明治二十年四月
かふのくこい

10
20
上根岸 森田特製

四十三 きんせんいでいりちやう　一、
明治十五年四月ヨリ十六年十二月マデ
かふのともせこかゝり

四十四 きんせんうけはらひちやう　二、
明治十七年一月ヨリ六月マテ
かふのくこい　つきのふ

四十五 きんせんうけもうひちせう　三
明治十七年七月ヨリ十二月マデ
かふのくこい

四十六 きんせんうけをらひちやう　四

明治十八年一月ヨリ六月マデ
かふのくこい

四十七 きんせんうけをうひちやう
明治十八年七月ヨリ八月二十六日マデ　五
かふのくこいでのこしじむ
かふのくこい　もとのとも

四十八 きんせんうけをうひちやう　六
明治十八年七月ヨリ十二月マテ
かふのくこい　もとのとも
（注明治十八年七月一日より かふのくこい もとのとも と改む）

10 20 上根岸 特田特製

四十九 きんせんうけはらひちやう　七
明治十九年一月ヨリ十二月マデ
かふのくこい（もとのとも）

五十 きんせん~~手ゆ出わ~~いでいりちやう　八
明治二十年一月ヨリ四（五）月マテ
かふのくこい

五十一 くこいひとりあつかちやう
明治二十一年一月
かふのくこい

五十二 きんせんでいりひびのかぞへ
明治二十一年三月

五十三 明治二十二年一月
かふかくこい

五十四 きんせんでいりちやう
明治二十三年一月
かふのくこい

五十五 きんせんうけはらひかんぢやう　三冊合本
明治二十三年一月より二十四年六月まで
かふかくこい　もとのとも
（注 昭和十乙亥年七月改装）

10 20 上根岸 持田特製

五十六 しはらひしようつゞり

五十七 ぎんかうあづけきんのしらべちやう
明治十八年より二十年まで
かふかくこい　もとかとも

五十八 ぎんかうあづけきんちや
明治二十一年三月
かふかくこい　もとのとも

五十九 だい三十三こくりつぎんかうをさめきん
明治十八年一月より六月まで

六十 だい三十三こくりつぎんかうへあづけきんのうけとりちやう

明治十八年七月より

かふのくゎい もとかとも

六十一 だい三十三こくりつぎんかうへあづけきんのうけとりがきちやう

明治十九年一月より十二月まで

かふのくゎい もとのとも

六十二 だい三十三こくりつぎんかうへあづけきんのうけとりがきちやう

かふのくゎい

六十三 ノゾキ

明治二十年一月より二十年十二月まで

かふかくゎい

六十三 くみぐミよりくゎいひおくりぢやうちやう 地方分會

明治十九年一月より十二月まで

かふかくゎい

六十四 ちうひまふ ちゝつがく びいでいりちやう

明治十九年六月より

とうきやう かふかくゎい

六十五 いうびんきつてつかひはらひちやう

10 20 上根岸 榛田特製

明治二十一年三月
かなのくわい

六十六 ぱちゆんかんかんぢやうちやう
明治十六年十二月より
かなかくわい　つきのぶ

六十七 らいふやうのひかえ（用紙皇典講究所）
明治二十三年十一月より
かふゆくわい

10 20 上根岸 特田特製

六十八 きんせんうけとりこりふ　だい一がう
明治十五年四月二十八日より　十六年十二月　日まで
かなわとも　つきのぶ

六十九 あづけきんうけとりこりふ　だい一
明治十七年七月より十一月廿四日まで
かなかくわい

七の

七一 あづけきんうけいごしとりふ
明治十八年二月二十八日より
かなのくとい
だい三

七二 あづけきんうけいごしとりふ
明治十八年七月より
かなのくとい もとのとも
だい一

七三 あづけきんうけいだしとりふ
明治十八年十一月より
かなのくとい もとのとも
だい二

10 20 上根岸 持田特製

七四 あづけきんうけいだしとりふ
明治十九年三月より
かなのくとい もとのとも
だい三

七五 あづけきんうけいごしとりふ
明治十九年九月より
かなのくとい

七六 あづけきんうけいだしわりふ
明治二十年三月より
かなのくとい もとかとも

七七 あづけきんうけいだしわりわ

明治二十年十月ヨリ

かなのくこい　もとのとも

七八 くこいひおくりちやう

明治十七年四月

かふかくこい　つきのぶ

七九 つかひ（をらひ）うけとりかきちやう

明治十七年七月

かふのくこい　もとのとも

10/20 上根岸 特田特製

八〇 つかひ（はらひ）うけとりがきちやう

明治十八年一月ヨリ六月マテ

かふのくこい　もとのとも

八一 つかひをらひかどばんぶらびみうけとりがきちやう

明治十八年七月一日ヨリ同八月二十六日

マテかふのくこいてのこしぶむ

かふのくこい　もとのとも

八二 つかひ（はらひ）うけとりがきちやう

明治十九年一月ヨリ六月マテ

かふのくこい

八三

つかひはらひうけとりがきちやう

明治十九年七月ヨリ十二月マデ

かふのくこい

八四

つかひはらひうけとりがきちやう

明治二十年一月ヨリ

かふのくこい

（無表紙）

八五

つかひはらひうけとりがきつゞり

明治二十一年一月ヨリ十二月マデ

かふのくこい

10 20 上根岸 特田特製

八六

しはらひうけとりがきつゞり

明治二十二年一月ヨリ十二月マデ

かふのくこい　じむしよ

八七

しはらひしようつゞり

明治二十三年一月ヨリ十二月マデ

明治二十四年一月ヨリ六月マデ

かふのくこい　じむしよ

八八

つかひはらひおぼえ

明治十六年十月

かふのくこい　じむしよ

昭和十年六月十二日　高野斑山氏より電話
仝年六月十五日　高野斑山氏来訪
仝年六月廿九日　高野斑山氏へ電話
~~仝年六月十七日　高野斑山氏来訪~~
仝年七月四日　高野斑山氏より来信
仝年七月七日　日下部重太郎氏来訪
仝年八月　日　日下部重太郎氏来信
　三小法鍾術書不明了の為不着
仝年七月十日　日下部氏より電話
仝年七月十日　日下部重太郎氏来訪
　かくかくして関係書類全部持参

九月十七日　かなのくわい　文献寄贈壹括

十月三十日　右寄贈感謝状

10
20
上根岸 村田特製

昭和十乙亥年六月拾六日調

かなのくわい　の　書類

東京市荒川区日暮里町
二丁目二十六番地

大槻茂雄　記

かなのくわいの書類　昭和十年六月調

かなのくわい（月の部）　両面、

かなのくわい（月の部）

かなのくわい　つきのぶのやくそく　十六年七月

かなのみちびき　まきの十三のふろく　十六年十一月二十日　両面

（月の部は舊かなのとも）

かなのくわい（雪の部）規則抜書　十六年十一月二十日

（雪の部は舊いろは會いろは文會等）

きんせんいりいりでへう（かなのみちびきまきの十一のふろく）　十六年十一月

めいぢ二十ねん　いりいりでへう　草稿

十八ねむつきなみくわいうたのけむだい
ふくわいちやうなべしまどのれんことば
がきのうつし　鍋島直大　十一年六月一日
おどけいろはうた、、、うるちゆるさむ
かなのみちびきまきの十三のふろく　十七年六月吉日　両面
かなのともの主意　両面
かなのくわいしゆいがき
兵庫湊川神社五十五年祭
ゐいせいかぞへうた
かなのえぜつききくしるしのふだ　十八年七月

しらせ　かなしんぶん第十號ふろく　十八年五月吉日
かなのくわいきそく　一冊
てならひのさうし　一號―いがう―　十九年五月　一冊
かなのしるべ　巻一　十七年六月三十日
かなのともの趣意（月の部）　十六年十月
てまねいろは
かなのくわい（もとのとも）のきそく　二十年三月一日　両
京都滋賀新報第九七九号　十七年六月吉日　両

あたみのつと（熱海の道中記）　一冊

明治十七年五月中旬　物集高見の序

かふのざつ志　一冊

明治十六年七月二十五日　一号

かなのまなび　一号ー十号　十冊

明治十六年八月二十日ー十七年六月二十日　合本一冊

事務所東京京橋区西紺屋町十九　かなのくわい雪之部

かなのてかゞみ　一ー二十一号、二十二号ー四十二号　合本二冊

明治十九年七月ー二十二年十二月十五日

東京市麹町区飯田町五丁目八　かなのくわい

10
20
上根岸 持田特製

かたかき 海上衝突豫防規則　　一冊
明治十九年五月　攻玉社　平田東雄訳
ひさもとのをーへ　　一冊
明治十九年五月二十六日　近藤真琴
ちようへいれいはやがてん　　一冊
明治十六年十二月 十六日／十七年一月 十六日　宮崎蘇菴訳
ぶんのかきかた（文の書方）　　一冊
明治十六年六月二十一日　辻敬之
かちぶんのかきかた　　一冊
明治十七年六月二十一日　辻敬之

10 20 上根岸 特田特製

きろくのぬきかき　第一号　　一冊
明治十八年三月二十五日
かなのてかゞみ　第五四号　　一冊
明治二十三年十二月十五日
うひまなびのてほん（初學習字帖）六冊ノ内　　一冊
（中村梧竹先生）
かなのくわいのきそくがき
明治十七年六月二十五日（假定）
飯田町一丁目七番地　かなのくわい
かなのくわいつなみふ（假名の會月報）　　二冊

（初編　二編

いそのもくづ（磯の藻屑）巻一—八郎　七冊

明治十七年十二月　但三号久

小田原萬年町四丁目かなの会小田原組

かなのみちびき　一—三、

明治十六年五月二十七日

明治十七年六月二十五日

かなのくわい月之部

米国ヨリノ書翰　安　山内萬寿治

五月二十三日

10 20 上根岸 特田特製

あまがさひづり　一—

明治二十一年六月かなのくわい三浦組

かなのみなと　三号八号十二号　三冊

出　．攝陽組

いつらのこゑのかなかへ

明治十九年六月九日　石河光熙（イシコ ミツテル）

てならひざうし　巻一

明治十九年五月二十五日　宮崎蘇庵

語学社記事（ことはのもと）　附会計

明治十七年二月　安

てがみのかきかた（一一六〇）　一綴　二綴

明治二十一年四月

つゆのしたくさ　神鞭

宇都宮　中の集　ニリヤマ中村良金

はやがくもんかなのしんぶん　第一號

明治二十年八月七日イロハ組発行

むつのはな　二。三。九。十。十一。十二。十三。十四。十五。十六。十九。二一。二三。二四。
二五。二六。二七。二八。二九。三〇。三一。三二。三三。三四。三五。三六。四〇。四一。

久号　一。四。五。六。七。八。十六。十七。二〇。二二。三七。三八。三九。

はつくさ（初草）

明治十九年三月　岐阜組假名の雑誌

はぎのしをり　七。八。十一。十二。

明治二二年一月十五日
明治二二年六月十九日　假名會　復校組

かながきちそでうれい　地親修例

かなのみちびき　第一の附録

4

10
20
上根岸 特田特製

10
20
上根岸 特田特製